



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 9
(通巻78号)
平成27年(2015)
7月10日(金)

◎保護者会資料

『区学力調査の結果と今後の授業』

校長 飯野 博史

前期前半が終了しようとしています。入学式、修学旅行、運動会、校外学習(2学年)、自然宿泊体験教室…大きな行事が一つ一つ成果を上げて終了しました。ご協力ありがとうございました。

学習面について、授業や中間考査、区学力調査などをもとに振り返り、今後の学習や授業について説明します。

区学力調査の中に「生活・学習意識調査」があります。1年生は47問、2、3年生は52問の設問があり、生活状況や学習意識と学力調査の結果の相関関係を考察するものです。

◎ 勉強が好きだ。

◎ 学校での授業はどの程度分かりますか。

◎ 学校の授業は楽しいですか。

今年度の八中生の傾向として、学年があがるに従って「そう思う」「よく分かる」「とても楽しい」といった肯定的な回答数が減っています。発達段階もあるのですが、学習内容が増え、少しずつ難しくなることが原因の一つと考えられます。「勉強が好きだ」「よく分かる」「とても楽しい」という生徒の数を増やしていくことが課題です。

八中では「分かる授業」「学力の定着」を目指して、昨年度から「学習カード(振り返りシート)」を授業に取り入れています。授業のねらいを明確にし、板書を工夫し、まとめて授業を振り返り、「できたこと・できなかったこと」などを記入します。すぐに効果が現れるものではありませんが、今後も継続して取り組んでいきます。

さらに後期から「課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」に力を入れて取り組んでいきます。次期学習指導要領改訂のキーワードとして取り上げられている「アクティブ・ラーニング」です。

「アクティブ・ラーニング」をもう少し詳しく説明すると、「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等がそれにあたる」(中央教育審議会答申)とあります。

このような学習が重視される背景には、次のようなことがあると感じました。

■「これからの企業・社会が求める人材像と大学への期待」

4月に経済同友会の方からお話を聞く機会がありました。話を聞いてショックだったのは、厳しい受験や就職活動を経て希望した企業に就職したものの、3年以内に30%の若者が離職し、若年無業者やフリーターが増加しているということでした。そこで企業側から「これからの企業・社会が求める人材像と大学への期待」と題して、企業が求める「人

材像」を明示しました。以下のとおりです。

教育・採用に関する企業の意識 ～大学との対話を通じて～
(1) 企業が求める人材像と必要な資質能力
● 変化の激しい社会で、課題を見出し、チームで協力して解決する力（課題設定力・解決力）
● 困難から逃げずにそれに向き合い、乗り越える力（耐力・胆力）
● 多様性を尊重し、異文化を受け入れながら組織力を高める力
● 価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力（コミュニケーション能力）
(2) 企業が大学に期待する役割
● アクティブ・ラーニングの導入によるコミュニケーション能力の向上
● 学生の能動的な学びによる学修時間の拡充

（経済同友会 「教育改革委員会 提言」 ホームページより引用）

中学校と大学とでは役割が異なりますが、育てたい力には共通するものがあります。知識を覚えるだけでなく、身に付けた知識を活用し課題を解決する力、さらに仲間と協働して問題を解決する力、コミュニケーション力など、「総合的な力」が必要とされているということです。

このような「総合的な力」は、国語、社会といった教科の中で身に付けていくことはもちろんですが、総合的な学習の時間、学級活動・行事などの特別活動、道徳など全ての教育活動で身に付けていくことが大切です。また、学校だけでなく家庭や地域でも意識していくことが必要です。

八中では今までも、話し合い、発表など言語活動の充実を図りながら、教科のねらいを達成するように努めてきました。後期から、さらに「アクティブ・ラーニング」を授業の中に積極的に取り入れると同時に、授業で身に付けた力が総合的な学習の時間や行事などで生かせるように、また行事などで身に付けた力が意欲となり授業に生かせるように、教育活動全体の充実を図っていきます。

子供の成長や学力の向上は一朝一夕になるものではありません。継続して取り組んでいくことが大切です。一時間一時間の授業を、一日一日の生活を充実させていくこと、そして何事にも前向きに取り組んでいくことが大きな成果につながっていきます。今後とも、さらに学校、家庭、地域との連携を深め、子供の成長を見守っていきましょう。

■授業改善プラン

区学力調査の結果をもとに、各教科で結果の分析を行っています。分析結果をもとに「授業改善プラン」を作成します。完成した「授業改善プラン」は8月初旬に「八中ホームページ」に掲載します。夏休み明けには各家庭に配布しますので、ぜひご確認ください。

夏休みの三者面談時に、区学力調査の結果（個票）をもとに担任から話をします。また夏休み中の宿題として「フォローアップワークシート」を渡します。区学力調査で課題となっている箇所についてしっかりと復習しておいてください。夏休み明けに提出することになっています。

■夏季休業明けから前期終了までの英語の授業について

7月末から約3か月間、2学年副担任・英語科並木光市主任教諭が東京都教育庁指導部主催外国語（英語）海外派遣研修に参加します。

並木主任教諭の研修期間中、代わりに齊藤綾華講師が指導に当たります。10月13日（火）後期からは、今までどおり並木主任教諭が授業を担当します。研修成果を八中全体の英語科授業にいかして参ります。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。